

当園では令和5年度の幼稚園学校評価として、園長のリーダーシップのもと、教職員自己評価及び、学校関係者評価を実施致しました。

園の特徴や方針を踏まえた上で、保育目標を立てて取り組むことで、園全体で大きな成果をあげることができました。

今後は、今回抽出した、「今後取り組むべき課題」の解決に園全体で取り組んでいきたいと考えております。

I. 教育目標

本園の目的

本園は仏教精神に基づき、「学校教育法」及び「幼稚園教育要領」に基づいて幼児を保育し、適当な環境を与え、健全、明朗、快活にその心身を支援し家庭と相まって保育の万全を期することを目的としています。

教育方針

つよく・あかるく・たくましくおもいやりのあるよいこにならしましょう

教育内容

適当な環境を与え、健全・明朗・快活にその心身の発達を支援し、家庭と相まって万全を期するように保育を展開しています。

専任講師による体操・音楽・英語(ECC講師・ネイティブスピーカー)活動を取り入れた保育も行っています。

毎年秋には、大阪城ホールで行われる幼児マーチングカーニバルに出場しています。

II. 今年度の重点目標

本園は願正寺(真宗大谷派)が母体となっており仏教園の特色を考慮した上で、評価項目を選定し、自己評価を実施する。

学園関係者や教職員が客観的に自園を見つめ、評価することで教育内容・施設の改善に取り組むとともに、地域密着型の園としての魅力をさらに増していくよう日々努力していく。

当園は、子どもたちの食育を大切にしており、自園調理給食を行っている。

子どもたちの栽培したお米や野菜を調理し、みんなでいただき感謝の気持ちををはぐくむ。

今後も、より一層子どもたちが楽しんで美味しく食べられるものを提供すべく栄養士・調理師・教職員参加の給食会議を定期的に関き積極的な意見交換をしていく。

令和5年度の整備事業

- 園舎の屋根のふき替え ○
- 防犯扉点検 ○

- 生活動線に人感センサー新調 ○
 ○安全機器及び空調点検 ○
 ○全教室アップライトピアノ・ホールグランドピアノ調律 ○

Ⅲ. 評価項目と取り組み状況

評価項目		取り組み内容	取り組み状況	
1	(教育内容) 教育方針・目標	教育方針・目的は園の特色を活かしたものになっているか。	A	園の目的として掲げている、「仏教精神に基づいた日々の保育」を行っている。具体的な取り組みとして、感謝の心を養うため、「おはようございます」「さようなら」「いただきます」「ごちそうさまでした」「ありがとうございます」などの挨拶を自ら進んでできるよう働きかけています。また、日々の保育の中で人の話が聞ける子、人を思いやる子になっていけるよう育ちを見守ります。
2	(教育内容) 教育課程の編成	園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育方針に従って編成されているか	A	
3	(教育内容) 教育環境の構成	子どもが様々な文化を受け入れる配慮や、環境を整備しているか	A	教育方針に掲げる「おもいやりのこころ」を育むために、異年齢児間の交流を行っている。今年度も併設の保育園児(0才～5才)とも仏教行事をはじめ、様々な行事を通して交流を深めることができた。
4		子どもたちが身近な自然や社会とかかわり、学ぶ環境を整えているか。	B	園庭では毎年、お米作りをしており、その他身近な野菜も育てている。自分たちが収穫したお米や野菜を園内で調理し、みんなで食べることで、子どもたちが感謝や喜びの気持ちを育めるよう、取り組んでいる。
5	(教職員体制の充実) 教職員同士の協力・連携	全職員が全園児の保育に関して共通理解をはかっているか。	A	全園児についての共通理解を深めるために、毎日教職員で話し合いの時間を設け、クラス・学年をこえて保育に関する日常の情報を全教職員が共有できるように取り組んでいる。
6	(安全・衛生管理) 健康・安全面での配慮	子どもたちの体調管理の徹底を図っているか。	A	子どもたちの体調管理を徹底するため教職員全員が毎日子どもたちの様子をしっかりと観察している。また、看護師が常駐しており、急な体調不良や、万一のケガに際して、速やかな対応ができるようにしている。その他にAEDを設置しており、毎年教職員が消防署の講習や指導を受けている。 夏の猛暑に対応すべく、園庭にミスト

				を設置し熱中症対策を行っている。 感染症対策においても消毒・手洗いうがいなどの基本的なことを徹底して行った。
7	(地域との連携) 地域への開放と支援	地域の子育てセンターの機能を発揮しているか。	A	地域の子育てセンターとしての役割を果たすべく、子育て相談員を園に常駐させ、地域の子育てや家庭からの相談を受け付けている。
		地域の人々、自然との関わりを大切にしているか。	A	本園では学校法人として担うべき役割として、地域との連携を大切にしており毎年定期的に近隣の老人福祉施設の方々と交流し、また、町内の夏祭りや区民祭りなどにも参加させていただいており子供たちも大変喜んでいる。 親子スキンシップ教室(未就園児親子体操教室)を年10回開催している。参加者からは「親同士の交流もできて大変うれしい」という有り難い声をいただいている。 園庭では季節の野菜などを育て、給食時にいただいている。

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない。
D	取り組みが不十分である。

IV. 今後取り組むべき課題

1	保育の充実	本園は仏教園であり、子どもたちが日常保育の中で自然と行儀作法を身に付けることができるように取り組んでいる。引き続きこの伝統を守っていきたいと考えている。教職員も挨拶・服装・笑顔など、お互いが気持ちよく過ごせるよう日々保育に取り組んでいる。
2	地域の子育てセンターとしての機能	満3歳児保育をはじめ親子スキンシップ教室・園庭開放と、地域の子育ての拠りどころとなるような場所を提供していきたい。

V. 学校関係者の評価

自己評価は適切に取り組まれていると判断します。
 コロナも落ち着き、行事が次々と再開され親としては子供の成長に触れる機会が増えとても喜んでおります。
 今後も子どもたち一人ひとりが主役になり輝ける保育を心がけていただき先生方にはこれまでと変わらぬ努力をお願いできたらと思います。